

FUSION™ DX800RAID

8ドライブ搭載シリアルATAディスクアレイストレージシステム

ドライブエンクロージャ・ユーザーズガイド



For
Windows

Creativity Stored Here™

SONNET™
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

Fusion DX800RAIDエンクロージャの仕様と機能

エンクロージャの仕様

互換性	Sonnet RAIDコントローラを搭載した Mac®、Windows®、Linux®コンピュータに対応
インターフェースコネクタ	mini-SAS 2基
対応ドライブ	3 Gb/秒および1.5 Gb/秒 シリアルATA、3.5インチドライブ
電源	100~240V AC、50/60Hz
動作時温度	5°C ~40°C
寸法 (幅×奥×高)	18.7 x 40.1 x 28.6 cm
重量	約12.7 kg

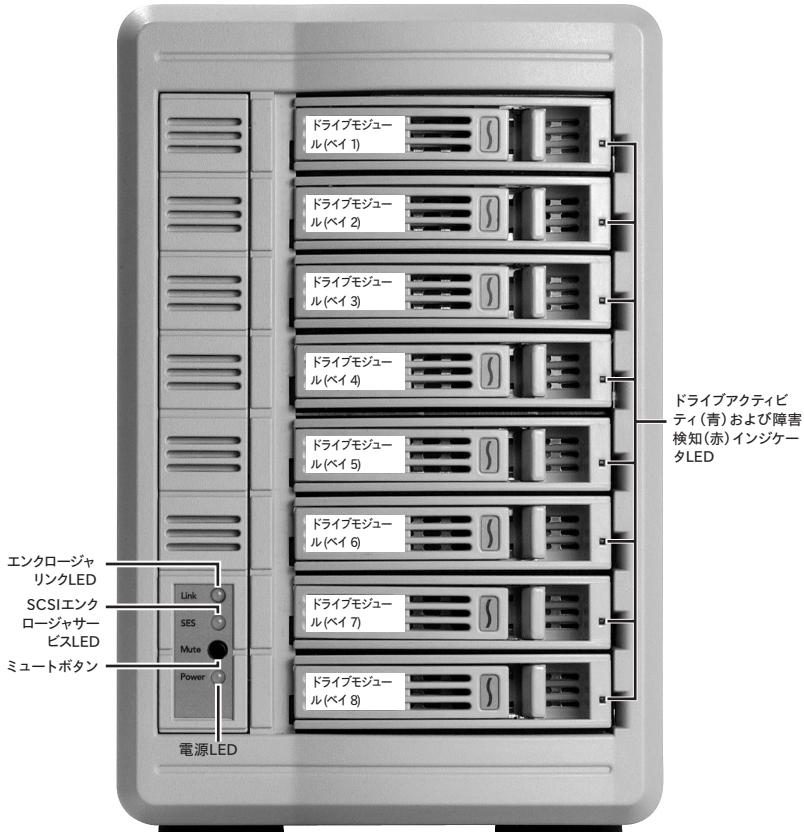


図1

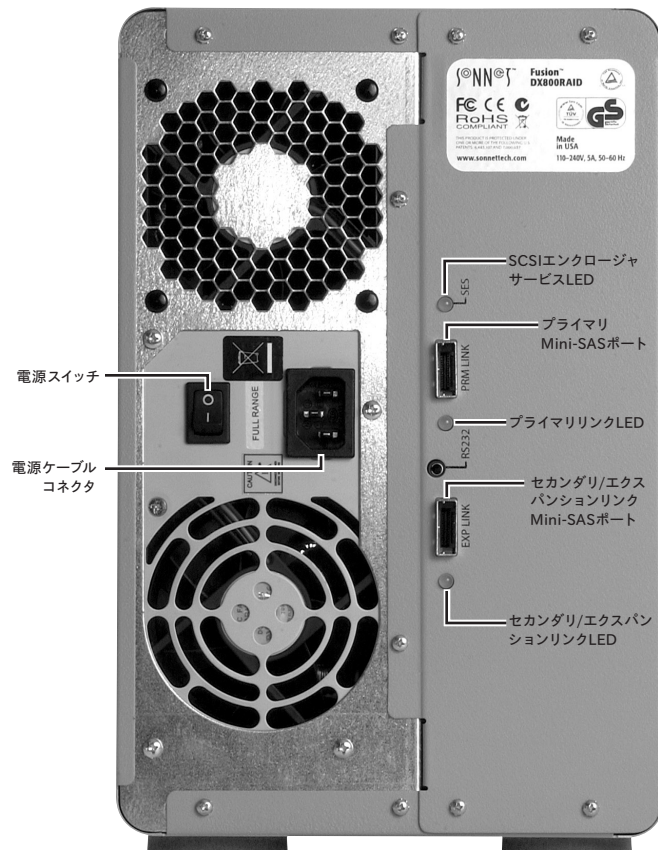


図2

安全上の注意および免責事項

安全上の注意

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決してエンクロージャの分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- エンクロージャやドライブトレイを落下させたり乱暴に扱ったりと故障の原因になりますので、取り扱いの際には十分ご注意ください。
- エンクロージャ内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の手順に従ってください。**ユーザーズガイド**に記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

免責事項

ドライブの使用について：

ソネットテクノロジーズ社では、下記に挙げるハードドライブをFusion DX800RAIDストレージシステムに指定しています。特にRAIDグループの利用時におけるドライブの卓越したパフォーマンス性とエラーハンドリング性、そして信頼性でこのドライブは選ばれました。これらのドライブと一般的なハードドライブとの重要な違いの1つは、エラー時の対応の速さにあります。一般的なハードドライブではエラーのリカバリーに数分かかるのに対し、これらソネットにて検証済みのEnterprise/RAIDエディションのドライブではたった数秒のうちにリカバリーを試みます。RAIDコントローラカードとソフトウェアRAID構造では、ドライブにエラーが発生した際に、そのドライブがすぐにRAIDグループから切り離されてしまうため、ハードドライブメーカーでは、RAIDストレージシステムで一般的なハードドライブの使用を推奨していません。ソネットにて検証済みのハードドライブは、ストレージの信頼性を左右する耐振動性能についても強化されています。システムの信頼性およびパフォーマンス性を確保するため、Fusionストレージシステム製品のご利用には、Enterprise/RAIDエディションのハードドライブまたは厳選されたソネット検証済みのデスクトップ用ハードドライブでの構築をお勧めします。一般的なハードドライブはサポートされていないものもあり、システムの信頼性と性能が低下する可能性があります。Sonnetウェブサイトにて、検証済みハードドライブの最新情報を確認してください。

免責事項 (つづき)

500GB モデル

- Hitachi製UltraStar A7K1000 (製品型番 HUA721050KLA330)
- Seagate製 Barracuda ES (製品型番 ST3500630NS)
- Seagate製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3500320NS) ⁽¹⁾

750GBモデル

- Hitachi製UltraStar A7K1000 (製品型番 HUA721075KLA330)
- Seagate製 Barracuda ES (製品型番 ST3750640NS)
- Seagate製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST3750330NS) ⁽¹⁾

1TBモデル

- Hitachi製Deskstar E7K1000 (製品型番 HDE721010SLA330)
- Hitachi製UltraStar A7K1000 (製品型番 HUA721010KLA330)
- Seagate製 Barracuda ES.2 (製品型番 ST31000340NS) ⁽¹⁾

1.5TBモデル

- Seagate製 Barracuda 7200.11 (製品型番 ST31500341AS) ⁽²⁾

2TBモデル

- Hitachi製UltraStar DK7SAA200 (製品型番 HUA722020ALA330)
- Western Digital製 RE4-GP (製品型番 WD2002FYPS)

下記のEnterprise/RAIDエディションのドライブは、未解決の技術的な問題があるため、現時点においてFusion DX800RAIDで使用しないようにしてください。

- 500GB Samsung製 Spinpoint F RAID (製品型番 E502IJ)
- 750 GB Samsung製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE753LJ)
- 1TB Samsung製 Spinpoint F RAID (製品型番 HE103UJ)

- (1) ファームウェアバージョン SN06 以降が与えられたSeagate製 ES.2ドライブにのみ対応。ファームウェアバージョンがSN03、SN04、SN05のSeagate製 ES.2は未対応です。
- (2) Barracuda製7200.11、1.5TBドライブでファームウェアバージョンがSD1B、CC1H の場合のみ対応しています。

ドライブのインストールとエンクロージャのセットアップ

Fusion DX800RAIDドライブエンクロージャの使用準備

1. Fusionドライブエンクロージャをパッケージから取り出し、コンピュータと接続が可能な近くの場所に置いてください。



警告： コンピュータ製品を扱うときは、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。また、カーペットの上等静電気の起こりやすい場所での作業は避けてください。ハードドライブ類は端を持つようにし、接続部分やピン等には触れないようご注意ください。

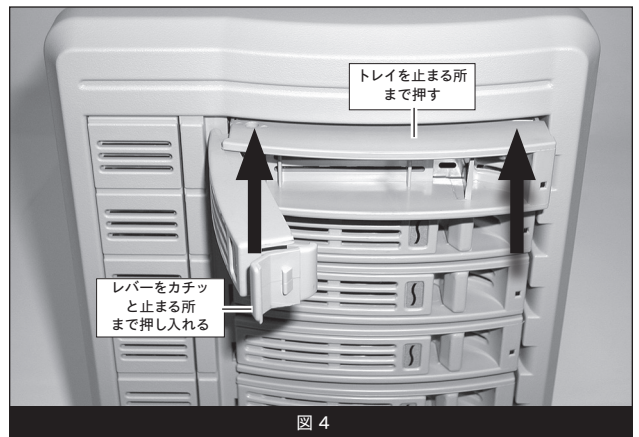
2. ドライブモジュールのレバーを止まるところまで押し、それからモジュール部分をエンクロージャの外方向へ引いて取り出します (図3)。



警告： ドライブモジュールを挿入する際、レバーを無理に押して閉めないでください。レバーが簡単に閉まらない際には、いったんモジュールを取り出し、再度挿入し、もう一度レバーを押してみてください。

3. レバーを完全に開き、慎重にドライブモジュールをエンクロージャ内に挿入していき、レバーがカチッと音がする所まで押し入れてください。これでドライブがエンクロージャの中にしっかりと固定されます (図4)。残りのドライブモジュールについて手順を繰り返します。

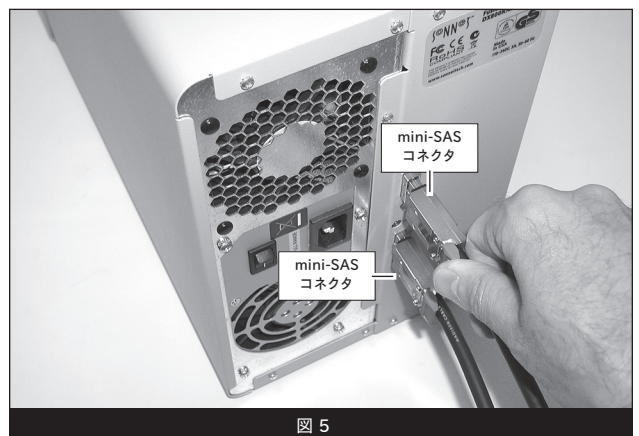
4. 残りの各ドライブモジュールについて手順 2から3を繰り返します。



Fusion DX800RAIDドライブエンクロージャをSonnet RAIDコントローラと接続する

このセクションでは、Fusion DX800RAIDドライブエンクロージャとSonnet RAIDコントローラカードとの接続手順について記載しています。

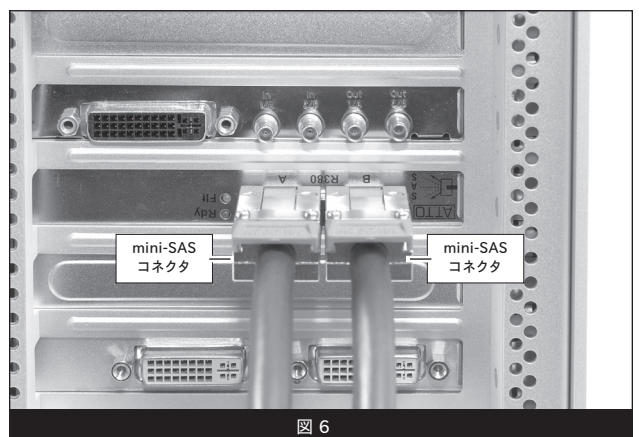
1. 付属の各データケーブルをエンクロージャのmini-SASポートに挿入し接続します。コネクタがしっかりと接続されたことを確認してください (図5)。



2. データケーブルの残りのコネクタをSonnet RAIDコントローラカードのmini-SASポートへ接続してください。コネクタがしっかりと接続されたことを確認してください (図6)。

3. 付属の電源ケーブルを使ってFusion DX800RAIDエンクロージャと、アースされたコンセント若しくは電源タップと接続します。ケーブルがしっかりと接続されたことを確認してください。

4. エンクロージャの背面にあるスイッチを「ON」にし、それからお使いになるコンピュータの電源を入れてください。

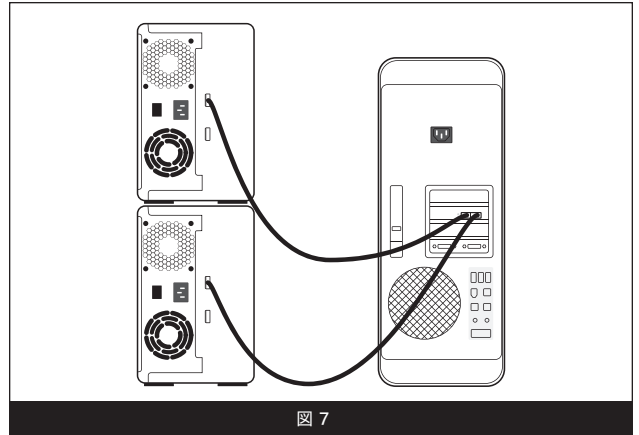


エンクロージャのセットアップ

追加のFusion DX800RAIDドライブエンクロージャの接続方法

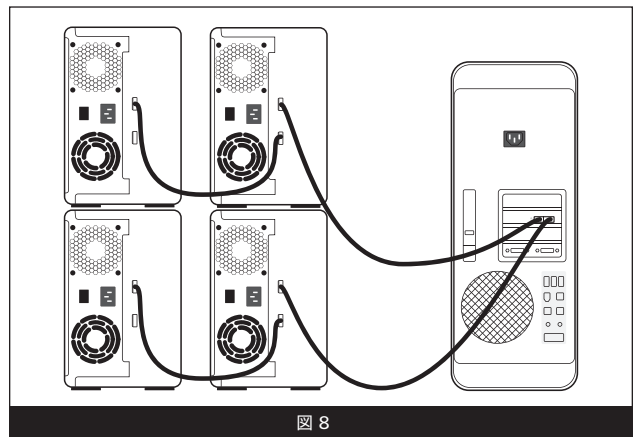
このセクションでは追加のFusion DX800RAIDエンクロージャをシステムへ追加する方法について説明しています。ここに記されている全ての手順は、コンピュータとFusionストレージシステムの電源が切れた状態で行ってください。

1. 2台目のFusion DX800RAIDエンクロージャをSonnet RAIDコントローラカードに接続するために、まず、最初のエンクロージャ側の下側のデータケーブルを取り外して、そのケーブルを2台目のエンクロージャの上側（プライマリ）にあるmini-SASポートへと接続してください（**図7**）。



2. 3台から4台のFusion DX800RAIDエンクロージャをSonnet RAIDコントローラカードと接続するためには、追加でmini-SASコネクタが両側に付いたデータケーブル（別売、お買い求めになった販売店へお問い合わせください）でエンクロージャ下側のmini-SASポートと追加のエンクロージャの上側（プライマリ） mini-SASポートと直接接続してください（**図8**）。

3. 1台のエンクロージャの拡張ポートから、別の1台へのエンクロージャのプライマリポートへと接続していくと、5台以上のFusion DX800RAIDエンクロージャと接続することも可能です。



製品の使用時に役に立つ情報とその他追加情報

役立つ情報

この項では、Fusion DX800RAIDエンクロージャの使用時に役立つ一般的な情報を記載しています。

Fusion DX800RAIDエンクロージャとの接続に、付属のカード以外のSonnet RAIDコントローラを使用する場合：

Fusion DX800RAIDエンクロージャは付属のSonnet RAIDコントローラとの使用に最適化されています。Fusion DX800RAIDエンクロージャを付属のカード以外のカードに接続する場合、そのカードが最新のファームウェアにアップデートされていないことがあります。最新のファームウェアではない場合は、使用前にカードを最適化する必要があります。

1. 「ATTO Configuration Tool」を起動します。ウィンドウの左側にあるDevice Listingのデバイスツリーを展開して「ExpressSAS R380」が見えるようにしたら、それをクリックしてください。
2. アプリケーションメニューより「RAID Management」 > 「Auto Map」を選択します。

ホットスワップドライブ：

Macの場合、Fusion DX800RAIDはドライブのホットスワップ*をサポートしますので、コンピュータの電源を落とすことなくドライブを入れ替えることができます。これはドライブをいつでも取り外せるということではありません。作業中にデータを損失しないよう必ず以下の手順に従ってください。

- ドライブモジュールを取り外す前に、必ずドライブのボリュームを取り出し（接続解除、アンマウント、デスマウント）してください。取り出したいドライブのアイコンをDockの「取り出し」アイコンにドラッグしてから、ドライブを取り外してください。
- RAIDグループに組み込まれているドライブのモジュールをFusion DX800RAIDから取り外す場合は、モジュールを再度挿入する前にいったんエンクロージャの電源を切ってください。モジュールを取り付けてから再度エンクロージャの電源を入れると、RAIDグループが正しくマウントされます。

* WindowsおよびLinuxは、SATAホストコントローラカードがインストールされたデスクトップPCまたはデスクトップサーバに接続されているドライブのホットスワップをサポートしません。

接続について：

コンピュータ上にドライブやボリュームが表示されない場合、ドライブがRAIDセットで構成されている際にドライブが見つかりませんというエラー

メッセージが表示された場合は、コネクタやドライブモジュールがきちんと接続されていないことが原因である場合があります。

- データケーブルをいったん取り外し、同時に再接続します。ケーブルの両端ともカチッと音がして正しく接続されたことを確認してください。
- ケーブルの接続の取り外しと再接続で問題が解決されない場合は、ドライブモジュールをいったん取り出して装着し直しを行ってください。

カスタマーサービスへのお問い合わせ

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新の関連情報やサポートファイルがあるか確認し、この**ユーザーズガイド**をもう一度よくお読みください。